

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

1. 1 製品の特定

製品名 ヘッドライトクリーニング&コート（セット）
 製品の分類 自動車用外装メンテナンスケミカル
 主な用途 樹脂製ヘッドランプカバー洗浄保護

1. 2 会社情報

会社名：日本オイルサービス株式会社
 住所：東京都昭島市福島町 3-2-20
 担当部門：商品統括部
 電話番号：042-542-8861 FAX 番号：042-542-8374
 制定日：2014年7月1日 改定日：

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類；	分類対象外
	可燃性・引火性ガス；	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール；	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス；	分類対象外
	高圧ガス；	分類対象外
	引火性液体；	分類対象外
	可燃性固体；	分類対象外
	自己反応性化学品；	分類対象外
	自然発火性液体；	分類対象外
	自然発火性固体；	分類対象外
	自己発熱性化学品；	分類対象外
	水反応可燃性化学品；	分類対象外
	酸化性液体；	分類対象外
	酸化性固体；	分類対象外
	有機過酸化物；	分類対象外
	金属腐食性物質；	分類対象外
	健康に対する有害性	急性毒性（経口）；
急性毒性（経皮）；		区分5
急性毒性（吸入；気体）；		区分外
急性毒性（吸入；蒸気）；		区分外
急性毒性（吸入；ミスト）；		区分外
皮膚腐食性・刺激性； ・ヘッドライトコート		区分4

	・ヘッドライトクリーニング剤	区分1 A-1 C
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性；	
	・ヘッドライトコート	区分2 A-2 B
	・ヘッドライトクリーニング剤	区分1
	呼吸器感作性；	区分外
	皮膚感作性；	区分外
	生殖細胞変異原性；	区分外
	発がん性；	区分外
	生殖毒性；	
	・ヘッドライトコート	区分外
	・ヘッドライトクリーニング剤	区分2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）；	
	・ヘッドライトコート	区分2
	・ヘッドライトクリーニング剤	区分1（呼吸器・中枢神経系）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）；	
	・ヘッドライトコート	区分2
	・ヘッドライトクリーニング剤	区分1（肺）区分2（血液）
	吸引性呼吸器有害性；	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）；	
	・ヘッドライトコート	区分4
	・ヘッドライトクリーニング剤	区分2
	水生環境有害性（慢性）；	
	・ヘッドライトコート	区分4
	・ヘッドライトクリーニング剤	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル；



注意喚起語；警告

危険有害性情報

分類基準；	該当しない
危険性；	通常の使用では危険性は少ない
有害性；	通常の使用では有害性は少ない
環境影響；	
・ヘッドライトクリーニング剤	アルカリ性物質により酸性物質で中和処理が必要である

注意書き

【安全対策】

- 保護手袋及び保護眼鏡/保護面を着用すること
- 環境への放出を避ける事
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

使用前に取り扱い説明書入手すること

取り扱い後はよく手を洗うこと

容器を密栓しておくこと

【救急処置】

目に入った場合は直ちに清水で15分間目を洗浄した後医師の診察を受ける
コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

吸入した場合、水で口、喉、鼻等をよく洗い流す

皮膚に付いた場合は、水で十分洗い流すこと。

飲み込んだ場合は口の中をよく濯ぐ

多量の場合は水又は牛乳を飲ませ吐き出させる。必要な場合は医師の診断を受ける

【保管】

冷暗所に保管すること

【廃棄】

溶液及び容器は地方自治体の条例に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別；混合製品

・ヘッドライトコート

含有成分 No.	1	2	3	4
化学名	アクリル樹脂	テトラフルオロエチレン重合体	変性マレイン酸ジブチル	イオン化水
含有量	45~55%	5~10%	15~25%	残量
CASNo.	非公開	非公開	非公開	非公開
化審法	非公開	非公開	非公開	該当せず
安衛法	公表	公表	公表	該当せず
PRTR法	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず
毒劇物法	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

・ヘッドライトクリーニング剤

含有成分 No.	1	2	3	4
化学名	合成界面活性剤	ジベンテン	イオン封鎖剤	イオン化水
含有量	10~20%	5~15%	5~15%	残量
CASNo.	非公開	非公開	非公開	非公開
化審法	非公開	非公開	非公開	記載なし
安衛法	公表	公表	公表	該当せず
PRTR法	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず
毒劇物法	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

化学物質管理促進法；

該当しない

労働安全衛生法第57条の2；

該当しない

4. 応急措置	<p>目に入った場合；</p> <p>皮膚に付着した場合；</p> <p>吸入した場合；</p> <p>飲み込んだ場合；</p>	<p>ヘッドライトクリーニング&コート(セット) 4/8</p> <p>直ちに流水で最低15分間眼以上洗浄し、洗眼後の症状に応じて医師の診断を受ける。</p> <p>水又は温水でよく洗い流す。</p> <p>新鮮な空気を吸入させ、症状に応じて医師の診断を受ける。</p> <p>嘔吐させて医師の手当てを受けること。</p>
5. 火災時の措置	<p>消火方法；</p> <p>消火剤；</p>	<p>保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用し消火剤で消火する。</p> <p>粉末、二酸化炭素、泡、砂、水噴霧等。</p>
6. 漏出時の措置	<p>・ヘッドライトコート；</p> <p>・ヘッドライトクリーニング剤；</p>	<p>吸着剤(おがくず、砂、ウエス等)で吸着させ焼却処理。</p> <p>大量の場合は土砂、土のう等で拡散、流出を防止し回収する。</p> <p>少量の場合はポリ容器に回収し、あとの水を含んだウエス等で拭き取る。</p> <p>大量の場合はポリ容器に回収し、あとを水で洗い流す。</p>
7. 取扱及び保管上の注意	<p>取扱い；</p> <p>保管；</p>	<p>保護具(手袋、眼鏡)の着用が望ましい。</p> <p>密閉して屋内に保管。凍結防止に心掛ける。</p>
8. 暴露防止および保護措置	<p>管理濃度；</p> <p>許容濃度；</p> <p>設備対策；</p> <p>保護具</p> <p>呼吸用保護具；</p> <p>保護眼鏡；</p> <p>保護手袋；</p> <p>保護衣；</p>	<p>規定なし。</p> <p>日本産業衛生学会(2001年度版) 記載なし。</p> <p>ACGIH(2001年度版) 記載なし。</p> <p>特に必要としない</p> <p>特に必要としない</p> <p>着用が好ましい</p> <p>着用が好ましい</p> <p>着用が好ましい</p>
9. 物理/化学的性質	<p>・ヘッドライトコート</p> <p>外観等；</p> <p>沸点；</p> <p>PH；</p> <p>凝固点；</p>	<p>乳桃色状液体</p> <p>約100℃</p> <p>6.5~8.5</p> <p>-3℃以下</p>

蒸気圧;	未測定
粘度 (20℃);	7.5~8.5 mPa.s
比重;	0.95~1.00
溶解度 水;	任意に希釈
引火点;	測定不能
爆発限界;	未測定
発火点;	未測定
可燃性;	該当せず
酸化性;	なし
自己反応性・爆発性;	なし
粉塵爆発性;	なし
発火性 (自然発火、水との反応性);	なし

・ヘッドライトコート

外観等;	薄青色液体
沸点;	未測定
揮発性;	僅かにあり
凝固点;	-3℃
比重;	1.05~1.07/ c m ³
臭気;	特有臭
蒸気圧;	未測定
PH;	11±1
発火点;	発火しない
溶解度;	水無限
その他;	水、エタノールに可溶

10. 安定性及び反応性

安定性;	極端な低温・高温により安定性を損なう。また異物質によっても安定性を損なう場合がある。
引火点;	引火しない
発火点;	発火しない
発火性 (自然発火性、水との反応性);	なし
爆発限界;	該当せず
酸化性;	なし
自己反応性・爆発性;	なし
粉塵爆発性;	なし
反応性;	なし
その他;	データなし

11. 有害性情報

・ヘッドライトコート

皮膚腐食性;	なし
刺激性(皮膚・眼);	陽性(日本産業皮膚衛生協会)
感作性;	なし
急性毒性(50%致死量を含む);	ラット LD50 5.0mg/kg
亜急性毒性;	最大無作用 40mg/kg ラット雄/日 50mg/kg ラット雄/日
慢性毒性;	未測定
がん原性;	未測定
変異原性(微生物、染色体異常);	未測定
生殖毒性;	未測定
催奇形性;	未測定
その他;	なし

・ヘッドライトクリーニング剤

皮膚腐食性;	なし
刺激性(皮膚・眼);	陽性(日本産業皮膚衛生協会)
感作性;	なし
急性毒性(50%致死量を含む);	ラット LD50 3.5mg/kg以上
亜急性毒性;	最大無作用 45 mg/kg ラット雄 50 mg/kg ラット雌
慢性毒性;	未測定
がん原性;	未測定
変異原性(微生物、染色体異常);	未測定
生殖毒性;	未測定
催奇形性;	未測定
その他;	なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性);	分類できない
水生環境有害性(慢性);	分類できない
分解性;	現在迄のところ有用なデータなし
・ヘッドライトコート	現在迄のところ有用なデータなし
・ヘッドライトクリーニング剤	96%以上
蓄積性;	現在迄のところ有用なデータなし
魚毒性;	現在迄のところ有用なデータなし
その他;	データなし

13. 廃棄上の注意

- ・ヘッドライトコート剤
少量ずつ焼却炉で焼却するか、専門の廃油業者に委託する。
- ・ヘッドライトクリーニング剤
水に溶解し硫酸で中和後、排水する。又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類；	国連の分類基準に該当しない
国連番号；	該当番号なし
国内規制；	下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

陸上輸送 消防法； 該当なし

容器； 該当なし

海上輸送 船舶安全法； 非危険物

航空輸送 航空法； 非危険物

容器の漏れの無いことを確かめ、荷崩れをしないよう搬送する。

できるだけ直射日光が当たらないように注意する。

15. 適用法令

消防法；	該当しない
労働安全衛生法	
危険物；	該当しない
57条表示対象物質；	対象物質を含有しない
57条の2通知対象物質；	対象物質を含有しない
有機溶剤中毒予防規則；	該当しない
特定化学物質等予防規則；	該当しない
毒劇物取締法；	該当しない
化学物質排出把握管理促進法；	指定化学物質を含有しない
水質汚濁防止法；	該当なし
下水道法；	該当なし
海洋汚染防止法；	該当なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律；	該当なし
船舶安全法；	非危険物
航空法；	非危険物

16. その他

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者提供されるものです。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全を保障するものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を講じた上での取扱いが必要です。

全ての化学品については、未知の有害性があり得ます。取扱いには細心の注意が必要です。

本品の適正なる使用については、使用者各位の責任に於いて行ってください。